

【和泊町立内城小学校】

勤務校での仕事の様子や魅力について

全校児童 38 名の小学校で 2 年生 6 名の担任をしています。児童はみな元気いっぱい、こども園からずっと持ち上がりのため兄弟姉妹のように距離が近く、互いのことをよく知っています。年上の児童を「〇〇にいちゃん」「〇〇ねえちゃん」と呼ぶ文化があり、島外から来た身としてはそれが新鮮で、少し羨ましくもあります。児童一人一人とじっくり向き合うことができるのが内城小学校で働く上での一番の魅力です。地域の特色としては、海や星といった豊かな自然に加え、西郷隆盛ゆかりの地という点が挙げられます。そのような特色は、「追い込み漁体験」や「郷土の教え」といった形で教育課程に活かされています。また、職員も保護者も、知恵や力を出し合いながら協力して児童を育てていくという文化が残っており、今年度が初任の私でも、他の先生方や保護者・地域の皆様に助けていただきながら安心して働くことができています。

離島での生活の様子や魅力について

「いつか教員になりたい」という思いがあり、教員資格認定試験で免許を取つて(紆余曲折を経た後に)教員になりました。小規模校で働きたかったため、大島地区の臨時的任用教員に応募しました。沖永良部は、約 1 万 2 千人が暮らす島で、スーパーや飲食店、病院など、基本的なサービスは揃っています。通販も使えるため、食料品や生活用品の購入で特に不便を感じることはありません。自動車は必須です。ペーパードライバーだったため多少の不安はありましたが、交通量も多くなく、すぐに慣れることができました。住居は勤務校から徒歩数分の教員住宅を利用させていただいています。古いですが住めば都です。周囲は明かりが少なく、夕焼けと星空は見飽きることがありません。花粉症が無いことも非常に大きな魅力の一つです。引越しは郵送と家電の買い替えで済ませました。よほど荷物が多くない限りはコンテナ便に比べて安上りだと思います。休日は、趣味のバスケットボールをしたり、気が向いたら海に行ったりしています。バスケットボールが盛んで、週 2,3 回練習できる環境があり、教員のチームに入れていただいて Erabu Night League というリーグ戦にも参加しています。



これからの離島に赴任する方へのメッセージ

児童一人一人とじっくり向き合える得難い環境だと思います。